

■ 施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
		分野	防犯・防災
		基本方針	23. 自助・共助による防災対策の充実
施策番号	12-01-①		
施策名	自主防災体制の確立と市民意識の高揚		

施策の概要

自主防災組織の育成等を進め、防災訓練や地域協働での防災教育、災害時要援護者への個別支援体制づくり、また、住宅耐震化の支援などを進めます。

成果指標(単位)	自主防災組織結成率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	90.0	91.0	92.0
実績値	91.6	91.7	92.8	95.6

成果指標実績に対するコメント

市や消防からの組織化の呼びかけ等もあって、平成28年度は7町内会が自主防災組織を結成した。実績値としては、28年度の目標値を達成している。

施策の達成度評価

自主防災組織の組織数は着実に増えてきている。防災講座や地域の防災訓練から、防災意識の高まりを感じられた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

これからも引き続き、自主防災組織未設置町内会に設置を呼びかけるとともに、自助・共助の取り組みを推進し、防災意識の高揚に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自主防災組織育成事業	危機管理課	○	昨年度よりも申請数も増加し、概ね期待していた成果が得られた。平成29年度は申請が出ていない自主防災組織に積極的に働きかけをしていく。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
自主防災組織出初式開催事業	危機管理課
民間建築物耐震化助成事務	建築課
震災避難経路整備促進事業	建築課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
		分野	防犯・防災
		基本方針	24. 災害に強いまちづくり
施策番号	12-02-①		
施策名	消防体制・基盤の充実		

施策の概要

消防・防災体制に係る人的資源の充実を図るとともに、中核的な防災拠点の整備などを進めるなど、迅速・確実な消防活動を確保し、また、業務の広域化による効率化に努めます。

成果指標(単位)	実消防団員数/定数(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	94.0	95.0	96.0
実績値	93.6	91.9	99.6	88.3

成果指標実績に対するコメント

12月に条例改正を行い、定数を233人から274人に改正を行った。そのため、成果指標としては減少となったが、実消防団員数は増加しており、消防・防災体制を強化できた。

施策の達成度評価

12月に定数を増やし、消防・防災体制の強化を図った。実消防団員数は増加しているが、定数には達していないことから団員確保に向け取り組みを継続する必要がある。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

平成25年12月13日に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、装備の強化が課題である。平成29年度についても計画的に装備の充実を図っていく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
湖南広域行政組合負担金事務	危機管理課	○	消防・防災体制に係る人的資源の充実を図るとともに、消防活動に必要な設備の整備や維持を行い、迅速・確実な活動の確保ができた。
消防団活動事業	危機管理課	○	消防団の装備の計画的な整備ができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
消防水利維持管理事業	危機管理課
消防車両等整備事業	危機管理課
コミュニティ防災センター運営事業	危機管理課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
分野	防犯・防災
基本方針	24. 災害に強いまちづくり

施策番号	12-02-②
施策名	地域防災体制・基盤の強化

<p>施策の概要</p> <p>災害時に即応できる防災体制と情報伝達体制等を確立・強化するほか、計画的な備蓄確保や地域ごとの防災拠点の整備などに努めます。</p>

成果指標(単位)	災害に強いまちであると感じる市民の割合(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		24.0	25.0	26.0
実績値	20.4	23.8	20.9	21.5

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、災害に強い街であると感じている市民の割合は、前年度より0.6%高くなったが、目標を達成することができなかった。市の取り組みが市民に安心感を与えることにつなげることができなかった。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>平成28年度は屋外スピーカーを新たに1基整備し情報伝達手段をさらに拡大することができた。また、防災行政無線を4基整備した。</p>
--

<p>評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方</p> <p>各学区で地域の実情に応じた防災計画である「地区防災計画」の策定に向けて地域と調整を図っていく。また、防災行政無線の増設を図る。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p> <p>平成28年4月熊本地震 平成27年9月鬼怒川決壊 平成26年8月広島県土砂災害</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防災対策事業	危機管理課	○	情報伝達手段の強化や備蓄品の整備などを行い、防災基盤を強化することができた。
水防訓練事業	河川課	○	水防訓練の実施により、水防活動の強化を図ることができた。
大雨警報警戒体制事業	河川課	○	民間気象会社と委託契約し、気象情報をリアルタイムに取得するとともに、気象情報の取得ツールであるメール配信枠を70から100へ増加したことで、より一層迅速な水防体制づくりを図ることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
防災パトロール事業	河川課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	12-03-①	まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
		分野	防犯・防災
		基本方針	25. 犯罪のないまちづくり
施策名	自主防犯活動の展開		

施策の概要

学(地)区単位の防犯組織や防犯ボランティア団体などへの活動支援などを通じて市民の防犯意識の高揚に努めるとともに、増加している自転車盗の削減を中心に犯罪抑止対策を充実させます。

成果指標(単位)	犯罪率(人口1万人あたりの犯罪件数)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	162	157	152
実績値	169.6	132.1	123.4	107.7

成果指標実績に対するコメント

犯罪率は前年度より減少し、目標値を達成することができた。多発する自転車盗対策を重点的に進めた結果、自転車盗件数については対平成27年比-77件(約16%減)となり、犯罪認知総件数は対平成27年比-186件(約12%減)と犯罪件数の減少につながった。

施策の達成度評価

自転車盗対策については、ワーストランキングの公表により駐輪場事業者の意識改革につながり、一定の成果ができた。今後も警察と連携して定期的な指導を行い、事業者の自発的な取り組みの継続を促すとともに、市民の意識改革に努めていく。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

ワーストランキングの周知や各駐輪場事業者の意識改革や取り組みにより、自転車盗対策の効果が発揮されてきたが、依然として、県内犯罪率ワースト1位であるため、街頭での啓発活動を実施するとともに、自転車盗多発場所にて施錠確認・巡回啓発に取り組むことで、さらなる市民の意識改革に努めていく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防犯対策事業	危機管理課	○	事業者・市民の意識改革を促し、犯罪率の減少に繋がった。
防犯灯設置費補助事業	危機管理課	○	防犯灯の設置補助により、町内における歩行者等の安全確保を図ることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	12-03-②	まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
		分野	防犯・防災
		基本方針	25. 犯罪のないまちづくり
施策名	防犯設備の維持・整備		

施策の概要

長寿命を考慮したLED防犯灯の設置、また、防犯設備の設置促進などにより、犯罪を未然に防ぐまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	犯罪率(人口1万人あたりの犯罪件数)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	162	157	152
実績値	169.6	132.1	123.4	107.7

成果指標実績に対するコメント

犯罪率は前年度より減少し、目標値を達成することができた。犯罪認知総件数は対平成27年比-186件(約12%減)となった。各種防犯啓発活動などのソフト事業をあわせ、防犯灯整備による良好な夜間環境が構築されたことも減少の一因と考える。

施策の達成度評価

学区ごとの選定箇所や、長い区間で夜間照明がなく、犯罪の危険性が高い道路などに防犯灯を整備し、通行の安全確保と犯罪の未然防止に一定寄与することができた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

本市における犯罪については、年々減少傾向にあるものの犯罪率が県下ワースト1位の状況にあり、まだまだ犯罪の減少に取り組んでいかなければならない状況にある。今後も継続して防犯灯の設置促進等防犯対策を進め、犯罪の抑止に取り組む必要がある。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防犯灯維持管理事業	危機管理課	○	新設した防犯灯および既設の防犯灯を適正に維持管理した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
分野	防犯・防災
基本方針	26. 治水対策の推進

施策番号	12-04-①
施策名	河川・排水路の整備

施策の概要

河川・排水路の適切な整備により、まちの雨水排水能力の向上と浸水の防除を図るとともに、一級河川の早期整備に向けた要望活動に取り組みます。

成果指標(単位)	要望件数に対する実施率(%) : 実施件数 / 町内要望件数			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	100	100	100
実績値	67	59	52	55

成果指標実績に対するコメント

平成27年度以前で実施できていない要望案件があるため、平成28年度についても、これまでと同様に、前年度の要望案件の実施の必要があり、目標値に対して実績値が下がる結果となった。

施策の達成度評価

各町内会の要望に対する水路整備を実施し、雨水排水能力の向上を行っているが、既存水路の改修等の要望も多く、整備が遅れている。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

近年、全国的にゲリラ豪雨による浸水被害が増えており、市民の注目も高まっているため、町内会の要望事項を中心とし、適切な水路の整備の早期実施に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
河川改修事業	河川課	○	予定通りの雨水排水路の整備を行うことができた。
河川維持補修事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理をすることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
町内会河川清掃浚渫土運搬事業	河川課
草刈等河川愛護推進事業	河川課
調整池維持管理事業	河川課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	12-04-②	まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
		分野	防犯・防災
		基本方針	26. 治水対策の推進
施策名	公共下水道雨水幹線の整備		

施策の概要

大雨による家屋等の浸水被害の軽減・未然防止を図るため、雨水排水路を整備します。

成果指標(単位)	認可面積に対する整備率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	65.3	65.4	65.7
実績値	65.1	65.7	66.0	66.1

成果指標実績に対するコメント

地域の雨水幹線整備の進捗を図ることができた。

施策の達成度評価

平成28年度は、矢橋2-1号、北川第1排水区、北川第3排水区の雨水幹線整備を行っており、供用開始区域に関しては浸水防止対策が図れた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

近年、全国的にゲリラ豪雨による浸水被害が増えており、市民の注目も高まっているため、今後も浸水被害の軽減・防止を目的とした雨水排水路の整備を進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
雨水幹線整備事業	河川課	○	予定通りの雨水排水路の整備を行うことができた。
雨水幹線維持管理事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理を行うことができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。